

鈴鹿スポーツガーデン施設利用促進事業

令和3年度 三重交通G スポーツの杜 鈴鹿（三重県営鈴鹿スポーツガーデン）事業報告

令和3年度は、第4期指定管理者の3年度にあたり、指定管理者で提案した事業計画及び本協会が策定した「スポーツ推進計画」に基づき、県営スポーツ施設としての役割を果たすとともに、健全な施設運営と県民総スポーツの振興に一層寄与するため諸事業の推進を予定していた。しかし、新型コロナウイルス感染症の拡大により、三重とこわか国体・三重とこわか大会をはじめとする各種大会の中止や無観客による大会開催、加えて本施設主催のスポーツイベントやスポーツ教室等の中止など、予定されていたスポーツイベント・競技大会が実施できず、2年続けてスポーツ振興にとって大逆風の年度となった。

そのような状況の中、選手の皆さんが最高のパフォーマンスを発揮できるよう施設各所の整備を進め、来場者に気持ち良く利用していただけるよう施設・設備の管理・維持に努めた。

1 利用の拡大・促進の取り組み

(1) 利用者サービスの向上

- ① 全施設、下記のとおり営業を行った。

施設名	4月～11月	12月～3月
全施設（水泳場、庭球場、サッカー・ラグビー場、体育館）	9:00～22:00	9:00～21:00

- ② 休業日を原則月1回（8月は休業日なし）とし、7月と12月に3日間集中的にメンテナンスを実施することで開館できる日数を増やしている。また、各施設において大会開催日も大会終了後に営業終了時間まで可能な限り一般開放を行った。
- ③ 大会や専用使用時のスムーズな運営を支援するため、利用に関する十分な事前調整及び営業時間前の特別開場を行った。
- ④ 来場者アンケートの実施及び「ひと声カードポスト」の設置により、施設運営の要望・スポーツ教室等の実施内容について意見を収集した。集約した意見を館内で表示するとともに全職員で検討し、速やかに対応できるものは実行し、施設改修など三重県スポーツ協会グループで対応できない要望については県へ報告した。
- ⑤ 最寄りのバス停留所である「三重交通G スポーツの杜 鈴鹿ぐち」から本施設敷地内へ本協会独自で土曜・日曜・祝日を中心に無料シャトルバスを運行し利用者の利便性の向上に取り組んだ。令和3年度の利用人数は、合計で1,164人となった。
- ⑥ 指定管理者として削減した経費は、施設整備及び備品整備を実施して利用者へ還元し、営業努力による収支差について全て修繕に充当して施設の健全維持に取り組んだ。
- ⑦ 新型コロナウイルス感染症拡大の影響により5月9日から6月13日まで20時までの時短営業とした。また8月27日から9月30日までは全施設閉館とした。これにより一般利用・団体利用の中止、主催事業であるスポーツ教室は休講または開催日変更とした。

(2) 利用促進活動

- ① リピーターに対するサービスの一環として、プール及び体育館トレーニング室で利用できる定期券・回数券の販売を継続実施した。
- ② 期間限定サービスの実施
ア 夏休み及び冬休み期間において、通常期は持ち込みが禁止されている浮輪などは、規定の範囲内での持ち込みを許可し、子どもたちが楽しんでプールを利用できる環境を提供した。
- ③ PR活動の実施

- ア 関係自治体に依頼し、イベントスケジュールやスポーツ教室開催等の情報提供を行うとともに、スポーツ教室の折込み広告を行った。
- イ 一般参加型イベントはホームページや場内に掲出した。
- ウ 施設要覧を作成し、関係機関へ配布した。
- エ 自治体広報への掲載依頼を積極的に行い地域住民への周知に取り組んだ。
- オ デジタルサイネージの活用
- ④ スポーツガーデン Mie Spo Inn との連携により、大会や合宿などにおける利便性を活かすスポーツの拠点施設としての利用促進を図った。
 - ⑤ スポーツガーデン Mie Spo Inn との連携により、三重県民共済生活協同組合の健康プランに当施設の利用券を入れたものを設定した。
 - ⑥ スポーツガーデン Mie Spo Inn 内のレストラン GLORY と連携し、定期券購入者へのプリンの無料券配布を行った。
 - ⑦ 利用拡大の一環として、近隣企業・自治体などの福利厚生事業との提携を継続実施した。
 - ⑧ シニア層のテニス愛好者の利用拡大と継続利用のため、シニアテニス大会の運営を支援した。
 - ⑨ ジュニアテニス選手育成のため、クラス別によるテニスアカデミー教室を通年教室として実施した。
 - ⑩ 健康マイレージ制度「マイレージ特典協力店」に加盟し三重県の健康増進活動への協力を行った。
 - ⑪ ウォーキングコース案内看板の整備とコース付近樹木の伐採により、利用者に使いやすい環境を充実させるとともに、クロスカントリーコースの活用により県民の健康保持増進に向けたサービスの充実を図った。
 - ⑫ 三重とこわか国体の会場となるサンアリーナ・サオリーナと連携し、3 施設合同イベントを企画したが、国体の中止により開催することができなかった。
 - ⑬ 地域への理解促進のために、地域行事に積極的に協力した。

2 主催事業

(1) ガーデンカップ

本協会加盟の競技団体と連携し、多くの県民が気軽に誰でも参加できるようガーデンカップを実施した。

- ① ソフトテニス（小学生）
 - 期 日：令和3年8月1日（日）
 - 対 象：小学生
 - 参 加：女子10チーム、男子12チーム
- ② ソフトテニス（中学生）
 - 期 日：令和3年8月1日（日）
 - 対 象：中学生
 - 参 加：女子100ペア、男子98ペア
- ③ ソフトテニス（高校生）
 - 期 日：令和3年8月6日（金）
 - 対 象：高校生
 - 参 加：女子25校、男子31校
- ④ ラグビーフットボール（7人制）
 - 期 日：令和3年8月7日（土）

対 象：大学生、一般

参加人数：54人

⑤ テニス

期 日：令和4年2月19日（土）20日（日）、26日（土）、27日（日）

対 象：一般、シニア（45歳以上、55歳以上、65歳以上男子）

参加人数：337人

⑥ フットサル

期 日：令和3年11月20日（土）

対 象：小学生（12歳以下）

参加人数：243人

（2）スポーツフェスタ'21

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

（3）指導者講習会

昨年度に引き続き、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止した。

（4）スポーツ講習会

スポーツに取り組む機会の提供として、スポーツ講習会を実施した。

① アーチェリー教室

開催日並びに参加人数：令和3年5月15日（土） 4人

令和3年6月12日（土） 10人

令和3年7月24日（土） 8人

内 容：アーチェリー体験

（5）スポーツ教室

スポーツガーデン内の各施設を活用して多種多様なスポーツ教室を開催した。

① 開催講座数：通年講座 307 講座、短期教室・体験教室 218 講座、計 525 講座であった。

② 延べ参加人数：通年講座 22,390 人、短期教室・体験教室 2,375 人で合計 24,765 人であった。

※緊急事態宣言の発令に伴い、8月27日～9月30日までスポーツ教室を休講した。

（6）スポーツサークル支援

テニスコートの定期利用者の拡大を目的として、サークルの登録制度を設け、利用料の一括精算制度や継続利用のための環境整備を行うなどサークル活動の支援を行った。

サークル登録数：171 団体（昨年度比+20 団体）

（7）ワンポイントレッスン

入場券のみで参加できるワンポイントレッスンを、通年で実施した。

① 水泳（25m）： 32回 327人

② 水泳（50m）： 24回 156人

③ 水中運動：8回 80人

④ エンジョイ流水マシン：6回 64人 （総合計 627人）

（8）着衣泳体験教室

日本赤十字社と共催による体験教室を実施した。

開催日：令和3年6月19日（土）
内 容：着衣泳講習会 日赤：原 正憲氏
参加者：37人

（9）健康増進事業への協力

三重県と市町が連携して実施している「健康マイレージ制度」（三重とこわか健康マイレージ事業）の普及のために本施設をマイレージ特典協力店に登録し健康増進事業への協力を努めた。

3 諸会議の開催

（1）利用調整会議

競技施設として大会等の円滑な運営に向けて、関係競技団体等の参加のもと、施設利用期日の調整を実施した。

水泳場、庭球場、サッカー・ラグビー場、体育館：令和3年12月27日（月）

（2）所内会議・主任会議

所内会議・主任会議を原則毎月実施し、年度当初に計画した事業計画進捗確認の他、施設運営に係る諸事項、利用者の皆様からの苦情・要望の共有と対処等について協議した。

4 施設管理

（1）日常点検

利用者に良質で安全かつ清潔な施設を提供するため、清掃・始業前点検・器具備品点検・施設点検を行い、異常箇所が見つかった場合は施設あるいは器具の使用中止の対応を取り、異常箇所の点検と必要に応じた修理を速やかに行った。

（2）月次点検

4施設（水泳場、庭球場、サッカー・ラグビー場、体育館）職員による、月次の設備備品の点検を行い、物品数の確認と正常動作の確認を行った。

5 リスクマネジメント

（1）消防避難訓練

災害発生を想定した訓練を6月及び11月の場内整備時に職員・業務委託業者を交えて行った。訓練では火災が発生したと想定し、消火用具を実際に用いて消火活動を行った。器具の使用方法を確認することで、実際の現場で使える技術を習得するとともに、職員全員が危機管理意識を再確認し、リスクマネジメントの力を強化した。

（2）危機管理マニュアルの作成

職員・業務委託業者の緊急時連絡体制の整備及び緊急時・災害発生時に備えるための危機管理マニュアルを改訂、併せて新型コロナウイルス感染症にかかる対応マニュアルを追加し、業務委託事業者を含め全職員に配布し緊急時の対応に備えた。

6 施設整備

(1) 県直轄の施設整備として主に下記の補修・改修が実施された。

水泳場／電光表示板更新工事
水泳場／防水改修工事
水泳場／音響システム改修工事
庭球場／自動火災報知設備更新工事
庭球場／管理棟自動制御機器更新工事
庭球場／コントロール棟空調更新工事
サッカー・ラグビー場／ガス給湯器更新工事
サッカー・ラグビー場／会議室空調更新工事
サッカー・ラグビー場／防水改修業務設計業務委託
サッカー・ラグビー場／第4グラウンドラグビーゴール購入
全施設／内装・外構修繕工事
全施設／シャワートイレ設置工事

(2) 独自整備として自己財源で備品整備並びに補修・改修工事を実施した。

水泳場／地下湧水・雨水排水ポンプ取替修理
水泳場／ボイラー、バーナーモーター他取替修理
水泳場／プール昇温2次ポンプ修理及びモーター取替修理
水泳場／エレベーター乗降戸、かご戸修理
水泳場／メインプールサイド溝カバー取替修理
水泳場／トレーニングランニングマシンモーター他修理
水泳場／飛込プールろ過機逆洗排水出口自動弁取替修理
水泳場／膨張タンク EXT-2 プラダ取替修理
水泳場／冷温水機仕切り板修理
水泳場／メインプール元バルブ取替修理
水泳場／サブオゾン発生器ボールバルブ他修理
水泳場／飛込プールろ過機ポンプ修理
水泳場／飛込プールオゾン発生機用コンプレッサー取替修理
水泳場／ボイラー給湯及び昇温ヘッダー取替修理
水泳場／飛込プールブライント修理
水泳場／メインプール、混和槽漏れ修理
水泳場／サブプール滅菌剤注入ポンプ取替修理
水泳場／メインプール男子更衣室トイレ排水漏れ修理
水泳場／事務所及び予備室空調機コンプレッサー、基盤取替修理
水泳場／エアハン.マグネットスイッチ取替修理
庭球場／シェルターコート掃除用電動スーパードライヤー購入
庭球場／センターコート清掃員室エアコン設置工事
庭球場／冷温水機冷却水渦巻ポンプ取替修理
庭球場／身障者トイレ警報装置修理
サッカー・ラグビー場／メインG (1・2F)、4G トイレ修理
サッカー・ラグビー場／3G 人工芝維持管理修理
体育館／LPG 検知部、調整器取替修理
体育館／空調機排ガス熱交他取替修理

(3) 修繕計画の要望

優先順位を定め県へ施設整備の要望を行うために中・長期的整備計画を策定し、担当課と優先順位を確認しながら修繕を進めた。

7 利用人数及び利用料金収入

年度	施設	利用人数	R2 年度比較	利用料収入	R2 年度比較
令和 2 年度	水泳場	112,830 人		35,935,098 円	
	庭球場	67,115 人		17,675,490 円	
	サッカー・ラグビー場	72,728 人		12,223,850 円	
	体育館	31,011 人		9,495,976 円	
	合計	283,684 人		75,330,414 円	
令和 3 年度	水泳場	147,962 人	35,132 人	46,633,063 円	10,697,965 円
	庭球場	70,686 人	3,571 人	18,446,223 円	770,733 円
	サッカー・ラグビー場	87,951 人	15,223 人	15,627,537 円	3,403,687 円
	体育館	34,079 人	3,068 人	10,902,274 円	1,406,298 円
	合計	340,678 人	56,994 人	91,609,097 円	16,278,683 円

◎スポーツガーデンの利用増減及び収支説明

新型コロナウイルス感染症の感染拡大の影響により、緊急事態宣言の発令期間中は全館閉鎖、三重県まん延防止等重点措置の適用期間中は 20 時までの時短営業等の対応を行った。この感染状況の悪化により、長年準備を進めてきた「三重とこわか国体・三重とこわか大会」が中止となり、利用者数及び利用料収入において大きなマイナスとなった。全施設とも注意深く感染予防対策を施しながら営業したものの、予定されていた大会の中止及び無観客による大会開催並びに一般利用者の減少により、利用人数・利用料収入において、本来の姿とかけ離れた実績となった。

このような状況下であったが、「三重とこわか国体・三重とこわか大会」での入賞を目指した選手強化合宿に対して、令和元年度から引き続き施設利用料を年 5 回を上限に全額免除した。

8 職員研修、その他

① 救命講習

緊急時の対応に全スタッフが心肺蘇生法を行えるよう職員及び委託事業所従事者が心肺蘇生法講習会を受講し、「普通救命講習終了証」の認定を受けた。

② 人権研修

三重県人権施策基本方針による「公平な機会が保障され、自立した生活が確保される社会の実現」及び「様々な文化や多様性を認め合い、個人が尊重される共生社会の実現」という基本理念の説明と、三重県人権教育基本方針による「人権教育の目的」と「個別的な人権問題に対する取り組み」の説明の後、三重県民としての人権課題への向き合い方を話題にして研修を深めた。

令和3年度三重交通G スポーツの杜 鈴鹿(三重県営鈴鹿スポーツガーデン)利用人数一覧表

(単位:人)

	水泳場				庭球場				サッカー・ラグビー場						体育館			合計		
	専用利用				個人利用	水泳場小計	屋外	シエーター	センター	庭球場小計	メイン	サブ	多目的	会議室	クライミング	サッカー場小計	アリーナ		個人利用	体育館小計
	メイン	サブ	飛込	会議室																
4月	3,789	3,430	588	2,264	5,361	15,432	4,024	1,766	251	6,041	0	6,431	340	811	0	7,582	1,512	640	2,152	31,207
5月	2,845	1,189	500	977	5,854	11,365	5,803	2,319	288	8,410	1,345	7,474	445	790	0	10,054	2,834	713	3,547	33,376
6月	4,822	5,500	387	1,972	6,238	18,919	4,930	2,014	164	7,108	3,570	4,721	280	959	0	9,530	1,777	715	2,492	38,049
7月	7,012	5,877	868	1,462	5,949	21,168	5,082	2,217	263	7,562	2,350	7,296	330	710	0	10,686	4,294	590	4,884	44,300
8月	2,467	90	846	624	5,688	9,715	3,879	2,344	231	6,454	50	2,288	230	65	0	2,633	1,815	589	2,404	21,206
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	2,027	1,706	614	1,089	5,575	11,011	5,185	1,449	271	6,905	0	5,856	230	521	4	6,611	1,834	696	2,530	27,057
11月	3,798	1,739	558	1,747	5,036	12,878	5,115	1,582	168	6,865	1,965	6,578	155	799	0	9,497	3,868	566	4,434	33,674
12月	1,935	774	905	1,926	4,003	9,543	3,254	1,350	197	4,801	1,000	6,685	210	683	0	8,578	2,223	517	2,740	25,662
1月	2,226	950	875	1,423	4,258	9,732	3,075	1,431	190	4,696	3,430	2,962	240	385	0	7,017	1,666	639	2,305	23,750
2月	5,528	4,790	797	3,256	3,768	18,139	3,795	1,425	144	5,364	1,304	2,944	120	519	0	4,887	1,793	820	2,613	31,003
3月	1,633	1,015	894	1,648	4,870	10,060	4,742	1,613	125	6,480	3,080	6,986	80	730	0	10,876	3,202	776	3,978	31,394
年合計	38,082	27,060	7,832	18,388	56,600	147,962	48,884	19,510	2,292	70,686	18,094	60,221	2,660	6,972	4	87,951	26,818	7,261	34,079	340,678

特記1:各施設の利用者数には減免利用者を含む

特記2:新型コロナウイルス感染拡大により、5月9日～6月13日 20:00までの短縮営業

特記3:新型コロナウイルス感染拡大により、8月27日～9月12日 全館閉鎖

令和3年度三重交通G スポーツの杜 鈴鹿(三重県営鈴鹿スポーツガーデン)施設利用料収入一覧

(単位:円)

	水泳場				庭球場				サッカー・ラグビー場						体育館			合計		
	専用利用				個人利用	小計	屋外	シエルター	センター	小計	メイン	サブ	多目的	会議室	クライミング	小計	アリーナ		個人利用	体育館小計
	メイン	サブ	飛込	会議室																
4月	806,775	505,530	388,310	366,400	1,573,380	3,640,395	964,170	625,240	42,670	1,632,080	0	1,079,880	37,540	97,970	0	1,215,390	719,578	88,810	808,388	7,296,253
5月	1,189,470	316,560	335,530	201,600	1,849,400	3,892,560	1,015,740	841,075	69,825	1,926,640	76,520	986,880	45,040	149,320	0	1,257,760	768,665	106,340	875,005	7,951,965
6月	1,044,237	668,670	321,386	249,100	1,843,520	4,126,913	1,007,670	681,990	43,920	1,733,580	318,260	819,720	13,420	250,200	0	1,401,600	855,600	119,730	975,330	8,237,423
7月	1,651,240	672,150	494,158	302,900	2,016,720	5,137,168	1,184,900	695,690	72,190	1,952,780	467,710	1,294,790	28,460	208,700	0	1,999,660	1,792,013	100,060	1,892,073	10,981,681
8月	1,138,915	86,630	603,200	725,350	1,759,520	5,608,587	744,930	768,440	50,380	1,840,858	14,640	463,870	36,180	3,750	0	1,650,972	770,690	79,760	1,289,889	10,390,306
鈴鹿市 借上分					1,294,972				277,108							1,132,532	439,439			
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	919,940	558,190	352,495	172,500	1,749,500	3,752,625	1,272,420	540,800	74,990	1,888,210	0	1,158,340	33,200	100,770	1,460	1,293,770	602,996	114,810	717,806	7,652,411
11月	1,049,870	507,350	448,630	215,000	1,554,640	3,775,490	1,035,210	561,210	46,830	1,643,250	286,740	1,169,200	26,320	200,465	0	1,682,725	1,030,540	71,380	1,101,920	8,203,385
12月	1,430,040	289,550	1,051,830	682,950	1,060,860	4,515,230	693,570	491,950	44,760	1,230,280	138,040	1,102,800	19,380	152,370	0	1,412,590	682,922	75,930	758,852	7,916,952
1月	1,004,110	322,800	688,025	325,000	1,305,240	3,645,175	864,410	526,400	55,000	1,445,810	267,680	741,500	17,520	117,870	0	1,144,570	628,028	100,490	728,518	6,964,073
2月	1,353,020	637,700	1,217,710	373,000	1,247,020	4,828,450	840,610	546,600	36,450	1,423,660	156,140	791,960	13,140	98,810	0	1,060,050	670,404	112,610	783,014	8,095,174
3月	879,940	473,200	591,890	271,600	1,493,840	3,710,470	1,110,085	586,750	32,240	1,729,075	239,230	1,112,710	14,100	142,410	0	1,508,450	871,889	99,590	971,479	7,919,474
年合計	13,762,529	5,038,330	6,493,164	3,885,400	17,453,640	46,633,063	11,010,823	6,866,145	569,255	18,446,223	3,097,492	10,721,650	284,300	1,522,635	1,460	15,627,537	9,832,764	1,069,510	10,902,274	91,609,097

※収入に関する特記

特記1:水泳場電光掲示板使用料はメインプールを含む

特記2:水泳場会議室使用料には冷暖房を含む

特記3:サッカー場サブグラウンド使用料には照明使用料を含む

特記4:体育館アリーナには器具使用料、照明使用料、空調使用料を含む

特記5:「鈴鹿市借上分」は、三重とこわか国体会場として三重県と結んだ事前契約に基づく日割り計算による施設利用料

総合競技場施設利用促進事業

令和3年度 三重交通G スポーツの杜 伊勢（三重県営総合競技場）事業報告

令和3年度は、第4期指定管理者の3年目を迎え、指定管理者の提案した事業計画及び三重県スポーツ協会が制定した「スポーツ推進計画」に基づき、県営スポーツ施設としての役割を果たし、県民のスポーツ振興に一層寄与するとともに、健全な施設運営を果たすため下記の諸事業を積極的に推進した。

全国高校総合体育大会が平成30年に開催され、地元選手の活躍で大きな盛り上がりを見せたが、それ以降の令和2年の全国中学校陸上競技選手権大会、全国教職員相撲大会、令和3年の三重とこわか国体・同大会等の全国規模の大会が新型コロナウイルス感染症により全て中止という残念な結果となった。

1 利用者の拡大・促進の取組

(1) 利用者サービスの拡充

- ① 競技場運営方針・利用目標を設け、職員一同一丸となり利用者の拡充とサービス向上に努めた。
- ② 利用者の立場に立って施設の有効利用、積極的な応対・接遇を行い業務改善・管理運営に努めた。
- ③ 利用(主催)者との大会事前打ち合わせや定期的に利用者説明会を行い、スムーズな大会運営に努めた。
- ④ ご意見箱の設置と利用者アンケートを実施して、利用者の生の声を聞くとともに、要望や意見については、実施可能なものから取り組みを行った。
- ⑤ 陸上競技場の諸室を利用し、新たなスポーツ教室の参加者獲得に努めるとともに、各サークルに呼びかけ、クラブ化への活動支援を行った。
- ⑥ 大会の開催等や繁忙期には、休業日の積極的な開場を行った。
- ⑦ 陸上競技場補助競技場及び投てき場は20時30分までのナイター営業が行えることから、地元陸上競技部にナイター利用を呼び掛けた。また、時期に応じたナイターの時間の変更をした。

(2) 利用促進について

- ① 定期的利用を図るため、伊勢市商工会議所・ライオンズクラブ・観光協会の企業訪問を行い加盟企業の従業員への利用及び福利厚生施設としての働きかけを行った。
- ② スポーツ教室については、三重とこわか国体・同大会の開催のため、中期の開催をやめ、前期・後期の2期で実施をした。また、前期・後期については、ニーズの多い講座の追加、参加者の少ない講座の廃止等を行い、75講座で実施した結果、1,058人の受講生となった。
- ③ トレーニングセンター利用者の利便性を図るため、引き続き「1ヶ月券・3ヶ月券」を発行するとともに、スポーツ教室参加者に無料券(1回券)を配布して、トレーニングセンターの体験と利用促進に努めた。

(3) 広報活動について

- ① 近隣市町への広報紙(折込みチラシ)報道機関へ利用状況及びスポーツ教室等の情報提供を行った。
- ② 行事スケジュール(競技場の主な大会一覧)を発行した。(500部×12月)
- ③ ホームページに最新の大会スケジュール及び施設予約状況を提供した。

(4) 職員の研修・視察

各種講習会・研修会に参加し、職員の資質向上に努めた。また、所内会議等で、人権についての研修を行った。

2 主催事業について

- (1) スポーツ教室については、近年の健康管理に対する意識の高まり、参加者の要望等により、例年は前期（5月～7月）・中期（9月～12月）・後期（1月～3月）の三期に分け115講座を目標に実施する予定であったが、三重とこわか国体・同大会の開催のため中期を中止とし、前期・後期のみ実施した。
- (2) 総合競技場感謝フェスティバルは、近隣住民やスポーツ愛好家の方々に施設のPRと利用者への感謝等を目的として例年実施しているが、本年度は、三重とこわか国体・同大会と開催期間が重なることなどの理由により、昨年度に引き続き中止とした。
- (3) 体力測定
トレーニングセンターでは、希望者されるお客様に対しサービスの一環として文部科学省発行の体力テストを個人の目的と体力およびレベルに応じたトレーニングメニューを提供した。
- (4) 第14回三重県営総合競技場杯ミックスタブルスバドミントン団体戦
競技場の冠大会として、施設活用と競技人口の拡大を目的とした大会を実施した。
・期 日：令和3年10月10日（日） 参加者： 113人

3 施設管理・リスク対策について

- (1) 利用者に対し良質な施設環境を提供するため、委託業務による点検に立ち会うとともに、設備の定期点検以外に、巡回目視による危険・不良箇所の点検を随時行った。
- (2) 危機管理マニュアルに基づき、緊急時への迅速な対応、連絡体制を強化した。リスク対策強化として救急講習等に参加し、職員の認識向上を図った。
- (3) 大会や自主事業開催時を想定し、伊勢市消防本部と共同で総合的な消防訓練を実施した。
- (4) テロ対策への講習会及び実施訓練講習会等に参加し、予防の仕方を体得した。また、テロ対策伊勢地区パートナーシップ「みテますキープ制度」モデル事業所として事業を推進した。
- (5) 台風・大雨・落雷等による被害が発生しているが、県との連携等による迅速な対応と、数年前の体育館地下浸水被害の教訓を生かした対応により大きな被害に至ることはなかった。また、落雷による被害が数件発生したが、早急な対応により競技会等への影響を最小限に止めることができた。

4 施設整備

- ・ 陸上競技場木製ルーバー塗装修繕
- ・ 五十鈴公園の樹木の伐採及び剪定
- ・ 補助競技場周辺の樹木の伐採及び整備
- ・ メイン競技場一種公認検定にかかる改修
- ・ 大型映像装置の部分改修
- ・ 体育館給水管修理
- ・ 雨天走路横トイレの改修

- ・ 陸上競技場、トレーニングセンターガラス面防虫処理
- ・ 補助競技場音響設備の改修
- ・ 陸上競技場トイレ呼び出し表示機更新工事
- ・ 管理事務所中央監視自動制御設備の改修

5 その他

第15回美し国三重市町対抗駅伝が予定されていたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止等により昨年度に引き続き中止となった。

また、三重とこわか国体・同大会についても新型コロナウイルス感染症拡大防止等により中止となった。陸上競技については、三重とこわか国体の代替大会として長野県を含む東海五県の国体出場選手が参加する「2021 東海フレンドシップゲーム」が開催され、大変盛況であった。

6 利用者数及び利用料収入

年度	利用者数		前年度比較	利用料収入	前年度比較
令和 2年度	競技場	76,101 人		6,529,610 円	
	体育館	39,943 人		9,285,510 円	
	トレーニングセンター	27,994 人		5,065,740 円	
	合 計	144,038 人		20,880,860 円	
令和 3年度	競技場	118,068 人	41,967 人	9,076,720 円	2,547,110 円
	体育館	46,967 人	7,024 人	10,885,680 円	1,600,170 円
	トレーニングセンター	30,156 人	2,162 人	5,464,900 円	399,160 円
	合 計	195,191 人	51,153 人	25,427,300 円	4,546,440 円

◎ 陸上競技場及び体育館並びにトレーニングセンターの利用増減について

新型コロナウイルス感染拡大により、8月27日から9月30日まで閉館としたため、利用者数及び収益ともに目標値を大きく下回る原因となった。また、9月～10月に開催予定だった三重とこわか国体・同大会が中止となり、年間を通して、陸上競技場・体育館ともに利用者数及び収益の減に影響を与えた。しかし、令和2年度の利用状況との比較では、多くの大会・練習会等が実施されたこと、定例団体や個人利用の増により、利用者数及び収益は、前年度を上回った。

トレーニングセンターについても、昨年度との比較では、新型コロナウイルス感染症により、来場を控えていた利用者が少しずつではあるが戻ってきていることと、高校生・大学生の利用が比較的多くなっているなどの理由により、利用者数及び収益ともに増となった。

令和3年度 三重交通G スポーツの杜 伊勢(三重県営総合競技場) 利用人数一覧表

(単位:人)

	陸上競技場					体育館			トレーニングセンター	合計		
	陸上競技場	投てき場	補助競技場	多目的広場	会議室	小計	本館	別館			会議室	小計
4月	5,794	32	2,617	131	969	9,543	1,823	1,918	15	3,756	2,637	15,936
5月	8,400	475	10,726	831	2,507	22,939	3,795	1,582	92	5,469	2,791	31,199
6月	9,647	249	4,276	122	2,839	17,133	3,608	1,529	330	5,467	2,850	25,450
7月	8,499	272	9,175	243	2,946	21,135	3,464	1,933	110	5,507	3,052	29,694
8月	2,779	149	3,291	31	1,258	7,508	1,345	1,352	0	2,697	2,484	12,689
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	8,130	29	4,438	188	1,501	14,286	1,426	1,320	17	2,763	2,682	19,731
11月	350	601	5,849	525	980	8,305	3,523	1,867	129	5,519	2,849	16,673
12月	668	33	1,993	135	1,576	4,405	3,110	1,465	37	4,612	2,651	11,668
1月	140	3	885	320	1,513	2,861	1,837	1,324	1,829	4,990	2,514	10,365
2月	0	32	1,930	360	1,803	4,125	1,140	1,222	71	2,433	2,632	9,190
3月	110	96	3,500	289	1,833	5,828	1,835	1,919	0	3,754	3,014	12,596
合計	44,517	1,971	48,680	3,175	19,725	118,068	26,906	17,431	2,630	46,967	30,156	195,191

令和3年度 三重交通G スポーツの杜 伊勢(三重県営総合競技場) 施設利用料一覧表

(単位:円)

	陸上競技場					体育館				トレーニングセンター	合計	
	陸上競技場	投てき場	補助競技場	多目的広場	会議室	小計	本館	別館	会議室			小計
4月	316,610	5,660	242,370	10,000	168,090	742,730	458,140	349,350	1,760	809,250	450,360	2,002,340
5月	629,990	33,300	559,410	45,000	126,860	1,394,560	659,210	304,260	19,080	982,550	554,760	2,931,870
6月	704,490	18,120	324,670	7,500	257,710	1,312,490	1,137,380	378,810	156,940	1,673,130	524,200	3,509,820
7月	758,710	24,720	417,360	7,500	176,120	1,384,410	894,790	380,790	82,720	1,358,300	540,360	3,283,070
8月	227,770	23,700	247,340	20,560	237,540	756,910	663,270	487,050	0	1,150,320	490,480	2,397,710
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
10月	666,680	6,980	328,000	13,750	148,590	1,164,000	313,340	257,580	6,380	577,300	501,640	2,242,940
11月	32,780	19,220	339,600	20,000	110,640	522,240	655,620	381,650	23,760	1,061,030	464,300	2,047,570
12月	125,450	8,400	207,200	35,000	266,670	642,720	704,130	351,060	20,720	1,075,910	434,140	2,152,770
1月	33,860	300	151,640	25,000	62,490	273,290	452,020	242,520	124,300	818,840	492,060	1,584,190
2月	0	5,070	247,900	8,750	83,700	345,420	300,710	231,000	23,380	555,090	475,920	1,376,430
3月	17,460	14,630	393,880	21,250	90,730	537,950	462,730	361,230	0	823,960	536,680	1,898,590
合計	3,513,800	160,100	3,459,370	214,310	1,729,140	9,076,720	6,701,340	3,725,300	459,040	10,885,680	5,464,900	25,427,300

鈴鹿青少年センター施設利用促進事業 令和3年度 三重県立鈴鹿青少年センター事業報告

令和3年度は、第4期指定管理者の4年目にあたり、指定管理者で提案した事業計画に則り、社会教育施設としての役割を果たすため、各種事業に取り組み、かつ、健全な施設運営を果たすため下記の諸事業を実施した。なお新型コロナウイルス感染症の感染防止を目的として施設の利用人数を制限するとともに、利用団体からのキャンセルも相次いだため、受入事業の実績が前年度同様にコロナ禍前の実績を大幅に下回った。

1 受入事業

・利用状況（※は指定管理者評価項目）

延利用人数 18,871 人（対前年度+5,991 人）※目標値：73,300 人

一日研修利用人数 10,740 人（前年度比+2,727 人）

延宿泊人数 4,242 人（前年度比+1,678 人）

定員稼働率 3.7% ※目標値：26.5%

団体数 481 団体（前年度+182 団体）

2 利用者の拡大・促進

（1）利用者サービスの充実

- ① 鈴鹿青少年センター運営方針・利用目標を設けて、利用者サービス拡大に努めた。
- ② 利用団体の利用状況に応じて休業日の営業（4月～9月、11月）を行った。
- ③ 利用者アンケートに基づいて、対応可能な箇所から改善を行いサービスの向上に努めた。

（2）広報及び利用促進活動について

- ① 各種主催事業チラシを独自で作成し、市内小中学校、各市町教育委員会、近隣コミュニティセンター及び鈴鹿、津、四日市の県庁舎へ設置や配布依頼を行うとともに、県政記者クラブへの資料提供を行った。
- ② 当施設のホームページで事業やイベント案内に加え、ブログを通じて主催事業などの活動報告の情報を発信した。

（3）職員研修

施設利用者の体調異変に備えて、3月に実施した消防訓練にあわせて、AED操作講習会を実施した。

（4）その他

- ① 三重まるごと自然体験ネットワークへの参画
平成28年に設立された「三重まるごと自然体験ネットワーク」へ参画し、青少年センターで実施可能な体験活動の情報の入手や主催事業時に所外で活動するプログラムの情報を入手できる体制を確保した。

3 主催事業

（1）創作活動事業

- ① 実施期日：年間随時（計55回）
- ② 参加人数：3,100人
- ③ 内容：センター利用者の希望に応じて、伊勢型紙や焼き杉などの活動支援を行った。

（2）親子防災アウトドア体験

- ① 実施期日：令和3年5月22日（土）
- ② 参加人数：9家族20人

- ③ 内 容：コロナウイルス感染拡大に配慮して、当初計画していた野外炊飯を取りやめ、防災をテーマにした屋外での体験活動を実施して、家族で防災について考える機会を提供した。

(3) レッツチャレンジ2021

- ① 実施期日：(第1回) 令和3年7月31日(土)、(第2回) 令和3年8月7日(土)
② 参加人数：(第1回) 19人、(第2回) 17人
③ 内 容：毎年実施してきた夏のキャンプ体験のレッツチャレンジを、コロナ対策に配慮して日帰りに変更して2回実施した。本協会のカヤックを使ったカヤック体験や季節に合わせた風鈴作り体験に取り組んだ。
なお8月28日に予定していた第3回は、緊急事態宣言による休館のため実施をとりやめた。

(4) 単級学級交流会

- ① 実施期日：令和3年11月1日(月)
② 参加人数：84人
③ 内 容：単級学級校を対象とした交流事業として実施し、他校の生徒とコミュニケーションを図ることをとおして社会性などを身につける場を提供した。

(5) わくわくファミリーキャンプ

- ① 実施期日：令和3年11月20日(土)
② 参加人数：30人
③ 内 容：小学生とその保護者が、親子で行う創作活動や野外炊飯等に挑戦して、家族で協力して目的を達成する体験をした。

(6) ウィンターアドベンチャー

- ① 実施期日：令和3年12月4日(土)
② 参加人数：19人
③ 内 容：小学生を対象にして、隣接する鈴鹿青少年の森でのウォークラリーやクリスマスリースづくりに挑戦して、自然の中での活動やものづくりの体験をした。

(6) 天栄中学校区四校交流会

- ① 実施期日：令和3年12月9日(木)
② 参加人数：106人
③ 内 容：同じ中学校区の児童を対象とした交流事業として実施し、他校の生徒とコミュニケーションを図ることをとおして社会性などを身につける場を提供した。

(7) 大人の学校シリーズ I

- ① 伊勢型紙のカレンダー作り講座
ア. 実施期日：令和3年12月8日(水)、15日(水)
イ. 参加人数：22人
ウ. 内 容：成人を対象とする地域交流事業として、伊勢型紙を彫ってカレンダー作りを体験した。
② ウォーキング講座
ア. 実施期日：令和3年12月10日(金)、17日(金)
イ. 参加人数：8人
ウ. 内 容：誰でも気軽に参加できるウォーキングを体験し、正しい姿勢で歩くことの効用を理解して、ウォーキングの習慣化に挑戦した。

(8) わくわくファミリーキャンプ冬編

- ① 実施期日：令和4年1月8日(土)
② 参加人数：12家族28人

- ③ 内 容：小学生と保護者を対象にして、アウトドアクッキング、自作した凧の凧あげや宝探しラリーなどの屋外を中心とした日帰りキャンプを体験して、自然に親しみ家族で協力して活動する機会を提供した。

(9) おもしろ自然科学教室

① 野菜の色の不思議

ア. 実施期日：令和4年2月5日（土）

イ. 参加人数：23人

ウ. 内 容：小学校高学年を対象に、身近にある野菜から色素を取り出したり薬品を使った色の変化を観察して、実験の楽しさを体験した。

② 静電気で遊ぼう！

ア. 実施期日：令和4年2月12日（土）

イ. 参加人数：25人

ウ. 内 容：小学校高学年を対象に、自分で静電気を起こしたり、静電気を利用する実験をして、電気の働きを体験した。

③ 岩石と鉱物の不思議

ア. 実施期日：令和3年2月19日（土）

イ. 参加人数：24人

ウ. 内 容：小学校高学年を対象に、実際にいろいろな石を使って実験をすることで、それぞれ違った性質があることを学んだ。

(10) 大人の学校シリーズⅡ

①伊勢型紙講座

ア. 実施期日：令和4年3月9日（水）、16日（水）

イ. 参加人数：10人

ウ. 内 容：成人を対象とした地域交流事業として、地元の伝統工芸である伊勢型紙を使った色紙・マイバッグ作りを体験した。

②染物体験講座

ア. 実施期日：令和4年3月10日（木）、17日（木）

イ. 参加人数：17人

ウ. 内 容：成人を対象として、身近なものを使ってトートバッグや巾着の草木染めに挑戦した。みんなで染物体験をしながら交流する体験をした。

(11) 子ども木工教室

ア. 実施期日：令和4年3月20日（日）

イ. 参加人数：延べ46人

ウ. 内 容：小学生を対象に、木工による万年カレンダー作りを実施した。様々な材料を使って自由な発想で飾り付け、楽しくものづくりをする体験をした。

(12) 親子カヤック体験教室

ア. 実施期日：令和3年5月～10月（計14回）

イ. 参加人数：延べ384人

ウ. 内 容：隣接する鈴鹿青少年の森の道伯池を使って、親子の初心者を対象としたカヤック教室を開催して、自然に触れる機会と親子のコミュニケーションの場を提供した。

(13) 出前・イベント出展等

① 体験活動サポート事業

依頼を受けて職員を派遣し、創作活動の出前事業を行った。

ア. 御幸地区まちづくり協議会

実施期日：令和3年8月8日（土）、11月21日（土）

体験人数：延べ35人

イ. 牧田地区地域づくり協議会親子手作り体験教室

実施期日：令和3年12月19日（土）

体験人数：39人

ウ. 鈴鹿市立河曲小学校

実施期日：令和4年3月8日（月）

体験人数：79人

4 施設整備

独自整備分（250万円以上の修繕や長期整備で要望している整備の部分実施等）

消防設備不良箇所（誘導灯、感知器等）修繕等

5 利用人数及び利用料収入

年度	利用人数			年度	利用人数			前年度比較
令和2年度	施設利用人数			令和3年度	施設利用人数			
	宿泊研修(A)	延宿泊者数	2,564人		宿泊研修(A)	延宿泊者数	4,242人	1,678人
		日帰り等 ^{※1}	2,303人			日帰り等 ^{※1}	3,889人	1,586人
		計	4,867人			計	8,131人	3,264人
	一日研修(B)		8,013人		一日研修(B)		10,740人	2,727人
	利用者数(A)+(B)		12,880人		利用者数(A)+(B)		18,871人	5,991人
	項目		利用料金		項目		利用料金	
	宿泊料		2,923,260円		宿泊料		4,630,454円	1,707,194円
	研修室利用料(宿泊)		309,650円		研修室利用料(宿泊)		407,280円	97,630円
	研修室利用料(日帰り)		1,499,480円		研修室利用料(日帰り)		2,098,166円	598,686円
設備器具利用料		140,350円	設備器具利用料		265,850円	125,500円		
合計		4,872,740円	合計		7,401,750円	2,529,010円		

※1 宿泊利用団体の最終日利用人数及び日帰り利用人数の合計

◎施設利用増減説明

新型コロナウイルス感染症の感染状況は前年度からは改善していないが、スポーツ団体や県内学校関係の宿泊利用が前年度より若干増加した。しかし、移動自粛や施設の利用制限の呼びかけが続いたため、コロナ禍前より利用者数、宿泊者数ともに大きく落ち込んだままとなった。

令和3年度 鈴鹿青少年センター施設利用状況一覧表

月	開所 日数	宿泊 可能 日数	利用 日数	施設稼働率	利用団体数	延宿泊者数	宿泊利用率	延利用者数	施設利用率	内1日研修
4月	30	29	19	63.3	40	264	2.5	1,435	13.0	991
5月	31	30	12	38.7	21	236	2.1	851	7.5	379
6月	30	30	17	56.7	25	0	0.0	667	6.0	667
7月	31	30	29	93.5	61	734	6.6	2,885	25.3	1,449
8月	26	25	21	80.8	34	630	6.8	1,417	14.8	377
9月	0	0	0		0	0		0		0
10月	30	29	25	83.3	52	629	5.9	2,520	22.8	1,213
11月	30	30	30	100.0	64	532	4.8	3,293	29.8	2,299
12月	27	24	23	85.2	61	496	5.6	2,085	21.0	1,147
1月	27	26	19	70.4	35	193	2.0	1,106	11.1	628
2月	27	26	16	59.3	36	30	0.3	773	7.8	713
3月	30	29	27	90.0	52	498	4.7	1,839	16.7	877
合計	319	308	238	*	481	4,242	*	18,871	*	10,740
平均	26.6	25.7	19.8	74.7	40.1	353.5	3.7	1,573	16.0	976.4

令和3年度 鈴鹿青少年センター利用人数及び利用料金統計表

月	延利用人数	延宿泊人数	利 用 料 金									利用料金 合計	
			施 設 利 用 料 金										設備器具
			宿泊を伴う場合				宿泊を伴わない場合						
			宿泊利用	総合研修館	大研修室	研修室・OR室 文化室 創作室	総合研修館	大研修室	研修室・OR室 文化室 創作室				
4月	1,435	264	336,560	0	0	13,690	99,640	57,680	129,870	11,900	649,340		
5月	851	236	122,200	0	0	0	31,020	10,640	40,700	2,000	206,560		
6月	667	0	0	0	0	0	68,620	2,240	57,720	10,950	139,530		
7月	2,885	734	741,750	25,380	5,040	34,960	86,104	47,600	102,490	101,600	1,144,924		
8月	1,417	630	797,890	5,640	25,200	20,160	105,464	29,680	50,620	16,000	1,050,654		
9月	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0		
10月	2,520	629	656,360	21,150	4,480	20,350	21,620	42,560	106,930	8,200	881,650		
11月	3,293	532	436,744	2,820	12,600	43,290	77,080	51,520	173,530	27,900	825,484		
12月	2,085	496	596,640	3,290	7,560	20,160	66,740	53,760	154,660	30,450	933,260		
1月	1,106	193	226,270	16,920	12,320	18,500	18,800	31,920	78,810	32,500	436,040		
2月	773	30	26,830	0	0	0	21,620	29,120	113,220	14,400	205,190		
3月	1,839	498	689,210	31,960	13,160	48,650	32,900	31,360	71,928	9,950	929,118		
合計	18,871	4,242	4,630,454	107,160	80,360	219,760	629,608	388,080	1,080,478	265,850	7,401,750		

宿泊施設利用促進事業 令和3年度 スポーツガーデン Mie Spo Inn 事業報告

平成30年4月より本協会直営に転換した宿泊施設・スポーツガーデン Mie Spo Inn（旧スポーツマンハウス鈴鹿）の利用状況は、令和元年度第3四半期までは比較的順調に推移した。

しかしながら新型コロナウイルス感染症の発生により、令和2年2月頃から利用状況に影響が出始め、それ以前は年間約1万4千人～約1万6千人で推移してきた宿泊実績も、令和2年度は約2千人強に留まった。

令和3年度に入ってもコロナ禍は一進一退を続け、東京2020パラリンピック・英国代表チームの直前合宿（8月）や、年末の一時的な感染小康に伴う需要回復はあったものの、第76回国民体育大会、第21回全国障害者スポーツ大会の中止の影響も大きく、年間宿泊実績は約6千人に留まっている。

「天然温泉 天名乃湯」については、令和3年度におけるコロナ禍の影響は小さく、ほぼコロナ禍前の実績に回復している。

ただし、令和3年度後半にかけて燃料費が激しく高騰するとともに、今後リネン費等の値上げ予定が目白押しであることから、令和4年度より入浴料、販売タオル及び貸しタオル等の料金の値上げを検討した。この影響により、3月度は回数券販売が激増し、通常の数倍程度の売上を計上した。（この反動として、4月以降しばらくは回数券販売が激減するものと予想される。）

1 売上拡大へ向けた取組

スポーツ利用以外の新規顧客開拓のため、三重県民共済生活協同組合と連携し、同組合員に限定した「1泊2食温泉付き（1名/5,980円）」プランの販売に取り組んだ。

これまで、スポーツ利用以外の顧客開拓には苦戦が続いていたが、同プランの反応はよく、さらに内容を拡充し継続する。

2 施設のリニューアルおよび施設名称の変更

利用客に快適な宿泊環境等を提供するため、一部のサービスや設備をリニューアルするとともに、施設名称を時代の要請に応じたものへと変更することにより、当施設のアピールに取り組んだ。

(1) 施設名称の変更

- ・施設名称を「スポーツガーデン Mie Spo Inn」にリニューアルした。
- ・令和3年4月1日に会長、三重県議会議長、鈴鹿市長、地元自治会長等臨席の下、新名称披露式を開催した。

(2) レストラン・サービスのリニューアル

- ・感染防止対策として「テイクアウト事業の新設」、「自動キャッシュレス券売機の導入」、「飛沫感染予防対策用アクリルパーテーションの設置」および「壁面クロスの抗菌仕様への張替」等に取り組んだ。

(3) 宿泊室に高反発マットレス「エアウィーヴ」を導入

- ・東京オリパラ2020選手村に採用された高反発マットレス「エアウィーヴ」を宿泊室に導入するとともに、併せて枕を全面的に新調した。

以上の取組みは、地域のフリーペーパー等の広報を活用し、周知した。

3 諸会議等、情報共有の取組

職員間の情報共有のために日々の引継のシステム化と月例ミーティングの他、鈴鹿スポーツガーデン、食堂・清掃・施設管理等委託先事業者および近隣地域関係者との打ち合わせを下記により実施した。

(1) 鈴鹿スポーツガーデンとの打ち合わせ

- ・両施設の販売促進のため、随時打ち合わせを実施した。

(2) 食堂・清掃・施設管理等委託先事業者との打ち合わせ

- ・利用者へのスムーズなサービス提供を目的に、随時打ち合わせを行なった。

(3) 近隣地域関係者との意見交換

- ・令和3年4月1日の新名称披露式において、近隣4自治会長も交えた新名称除幕行ない、地域と施設との一体感をアピールした。
- ・随時、施設の利用促進や周辺環境との調和に関する意見交換を行った。

4 施設管理

(1) 日常点検

- ・良質・安全かつ清潔な施設提供のため、職員と施設管理委託先が協働して、日常の清掃・点検を行い、異常箇所が見つかった場合は施設・機器の使用中止の対応を取り、異常個所の点検と必要な修理を速やかに実施した。

(2) 定期点検

- ・専門事業者に委託し、定期的にエレベーター、温浴関係、空調関係の機器点検を行うと同時に、空気・水質等の環境点検を実施した。

(3) 一斉点検日（休業日）の設定

- ・温浴の浄化槽・配管等は、半年間に一度専門事業者の点検・清掃を実施した。また、宿泊棟・食堂棟の機器設備類については、温浴休業日と合わせて全館休業日とし、設備の集中点検を行った。

5 リスクマネジメント

(1) 危機管理マニュアルの更新

- ・既存の危機管理マニュアル（火災、地震、台風、不審者、個人情報漏えい、全国瞬時警報システム〈J-ALERT〉、弾道ミサイル発射時の対応、感染症対策等）に加え、スタッフに感染症の濃厚接触者、陽性者が発生した場合の対応として「BCP対応リスト」を作成した。

(2) 危機管理対策

- ・鈴鹿市消防本部と連携のうえ、消防連絡訓練を実施した。（6月21日、12月1日）

6 施設整備

営業開始後10年以上が経過し、改修や交換が必要な設備も増加してきており、優先順位を定めて施設・設備の更新を進めた。

- ・つば湯熱交換器の交換
- ・浄化槽修理

- ・レストランエアコン修理
- ・希釈用深井戸新設工事：温浴源泉の塩分濃度が掘削当初に比べて年々高くなってきており、下流の水田耕作への影響が懸念されてきたことから、最終放流水を希釈した上で排水することで対応するため、希釈用井戸の掘削及び汲み上げポンプの設置工事を行った。
(令和3年3月～4月施工、5月運用開始)

7 利用人数及び利用料収入

(1) 宿泊

区分	令和2年度	令和3年度	前年度比
スポーツ	1,296人	5,277人	3,981人
一般	334人	551人	217人
インターネット	457人	331人	▲126人
計	2,087人	6,159人	4,072人
売上高	11,563,074円	35,073,620円	23,510,546円

(2) 飲食

区分		令和2年度	令和3年度	前年度比
朝食	人数	1,394人	5,193人	3,799人
	売上高	1,140,100円	5,081,450円	3,941,350円
昼食	人数	339人	3,991人	2,448人
	売上高	372,900円	4,728,380円	4,355,480円
夕食	人数	1,238人	5,158人	3,920人
	売上高	2,066,500円	10,353,325円	8,286,825円
弁当	人数	1,026人	1,744人	718人
	売上高	873,960円	1,312,700円	438,740円
宴会	人数	2人	30人	28人
	売上高	6,000円	64,950円	58,950円
売上合計		4,459,460円	21,540,805円	17,081,345円

(3) 温浴

区分		令和2年度	令和3年度	前年度比
大人	人数	26,510人	43,656人	17,146人
	売上高	14,088,900円	23,944,000円	9,855,100円
小人	人数	2,015人	4,227人	2,212人
	売上高	602,900円	1,258,700円	655,800円
回数券	人数	21,502人	32,821人	11,319人
	売上高	9,278,500円	23,930,500円	14,652,000円
その他	人数	915人	1,702人	787人
	売上高	649,190円	1,129,540円	480,350円
合計	人数	50,942人	82,406人	31,464人
	売上高	24,619,490円	50,262,740円	25,643,250円

(4) 会議室

区分	令和2年度	令和3年度	前年度比
件数	87件	353件	266件
売上高	586,800円	2,140,900円	1,554,100円

(5) その他

区分	令和2年度	令和3年度	前年度比
売上高	68,349,765円	24,822,395円	▲43,527,370円

※令和2年度：うち、軽症者療養施設借上げ料 62,964,000円

(6) 総売上

区分	令和2年度	令和3年度	前年度比
売上高	109,578,589円	133,840,460円	24,261,871円

8 職員研修、その他

(1) 就労環境の整備

月例ミーティング等における意見交換、シフト勤務の公平化等による職員の就労環境の整備に努めた。

(2) 普通救命講習

緊急時の対応に全スタッフが心肺蘇生法を行なえるよう、定期的に心肺蘇生法講習会を受講し、「普通救命講習修了書」の認定を受けるようにしている。

令和3年度 スポーツガーデン Mie Spo Inn施設利用状況一覧表

	宿泊施設 (人)	温浴施設 (人)	会議室 件数	食 事										宴会 人数	
				レストラン (人)						計					弁当 人数
				朝食	昼食	一般利用	予約利用	夕食	計	個数					
4月	343	7,895	14	249	623	589	34	310	1,182	69	19				
5月	174	6,924	7	65	222	129	93	68	355	6	0				
6月	417	6,257	19	407	17	0	17	413	837	29	0				
7月	609	6,839	28	531	296	296	0	492	1,319	272	0				
8月	989	3,824	17	670	487	33	454	773	1,930	159	0				
9月	52	5,441	5	2	0	0	0	3	5	33	0				
10月	199	7,002	7	140	0	0	0	126	266	306	0				
11月	224	7,561	30	168	107	0	107	146	421	189	0				
12月	1,442	8,570	73	1,403	618	0	618	1,304	3,325	456	11				
1月	349	8,909	28	318	408	268	140	287	1,013	45	0				
2月	570	5,715	40	540	731	261	470	575	1,846	16	0				
3月	791	7,469	85	700	482	309	173	661	1,843	164	0				
計	6,159	82,406	353	5,193	3,991	1,885	2,106	5,158	14,342	1,744	30				
令和2年度 計	2,087	50,942	87	1,394	339	0	339	1,238	2,971	1,026	2				
令和2年度 比較	4,072	31,464	266	3,799	3,652	1,885	1,767	3,920	11,371	718	28				

松阪野球場 施設利用促進事業

令和3年度 ドリーム オーシャン スタジアム（三重県営松阪野球場）事業報告

令和3年度は、指定管理者で提案した事業計画及び本協会が制定した「スポーツ推進計画」に基づき、県営スポーツ施設としての役割を果たすとともに、健全な施設運営と県民総スポーツの振興に一層寄与するため、下記の諸事業を実施した。

1 利用者の拡大・促進

(1) 利用者サービスの向上

- ① スコアボードが電光掲示板化となり、本部席の2台のパソコン操作による自動化が可能となり、スピードガン表示やメインスタンドのBSO機器の取付けによって、観覧がより楽しめるようになり、試合進行もスムーズとなった。
- ② 各種大会の円滑な運営を支援するため、本来の開館時間前の開場(特別開場)を行うとともに、一般開放を可能な限り行えるよう、利用団体に対し利用調整会議を開催し、利用調整を行った。
- ③ 大会等のスムーズな運営を支援するため、大会規模に応じて利用時間を前倒し、あるいは日没まで時間延長を行った。また雨天順延による大会予備日などは休業日開場(特別開場)で対応を行った。
- ④ 良好な球場環境を保つため、職員でブルペンのフェンス修繕、雨天後グラウンドに発生した溝の修復などを行い、より良い環境でプレー出来るよう、グラウンド整備を行った。
- ⑤ 中部台運動公園利用者の利便性向上のため、野球場のトイレを休業日以外は常時開放した。
- ⑥ オンライン予約システムにより、県内外の球場利用者への利便性を高めた。

(2) 利用促進

- ① 平日の施設利用拡充のため、近隣中学校の放課後のクラブ活動(野球部)に対して、利用料金と利用時間の便宜を図り、利用拡大に努めた。
- ② 野球場のあり方について、県高野連をはじめ利用団体関係者と意見交換を行った。
- ③ 障がい者施設への利用の呼びかけや広報を行った。

(3) 広報活動

- ① 当野球場ホームページにより、オンラインでの予約や空き状況などの情報を発信した。利用者への広報活動の一つとして、パンフレットを窓口配布や利用料金精算時に利用者へ直接配布した。
- ② 毎月中旬に、翌月の利用予定を地元新聞社へ情報提供を行った。
- ③ 当野球場で行われた大会結果を野球場ホームページに掲載し、利用状況のPRに努めた。

2 主催事業

例年実施している松阪野球場杯松阪地区中学校野球選手権大会は、第1回ドリーム オーシャン スタジアム杯として計画していたが、新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、中止とした。

また、スポーツレクリエーションフェスティバルも、新型コロナウイルス(オミクロン株)の急激な感染拡大により実施を見送った。

3 施設管理・リスク対策

- (1) 中部台運動公園内に位置する当球場は、円滑な施設運営を行うため、同公園を管理する松阪市との連携が不可欠であり、常に公園全体の課題や日常業務の諸問題について、情報を共有しながら、安全な施設運営に取り組んだ。
- (2) 野球場を利用する方々に良質な施設環境を提供するため、業務委託による業者点検への立ち会いと設備の定期点検をはじめ、職員の巡回目視による危険・不良箇所の点検を随時行った。
- (3) 危機管理マニュアルに基づき、緊急時への迅速な対応、連絡体制の徹底を行った。
- (4) 設備の小規模修繕等については、地元のシルバー人材センターに登録している方々を活用し、高齢者雇用の促進と活用を図った。
- (5) 昨今の天候急変による施設利用者の被害を未然に防止するため、特に夏季における雷注意報発令時については、利用団体への情報提供を速やかに行い、注意報発令時には施設内に退避を促すなど事故防止に努めた。また、冬季などには、気温低下による肉離れ等の事故・ケガ防止に努めるよう利用者へ注意喚起を行った。
- (6) 応急処置用の常備薬、救急用品の点検を行い、不足品はすみやかに補充を行った。
- (7) 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため、ガイドラインに従い、球場利用者や業者に対して、当日朝の自宅での検温、または球場検温器での検温、球場入口での手指消毒、運動時以外のマスク着用、三密の回避などの協力を求めた。また、利用団体の責任者には、参加者名簿の作成及び提出を求めた。
- (8) 本部席や各部屋の机・椅子・ドアノブ、両側ベンチの椅子、バックスタンドの椅子など、定期的に清掃・消毒した。

4 施設整備

- ・年間を通じた芝生管理
- ・不陸修正工事（6月及び3月）の実施
- ・放送設備、スコアボード保守点検
- ・浄化槽・消防設備保守点検
- ・消防設備機器不良箇所等修理（独自財源）
- ・雨天後のグラウンド内側溝の泥の除去（職員対応）
- ・外野後方の側溝への落葉等落下防止用竹の設置（職員対応）
- ・ポンプ室の点検及び配管修理
- ・球場出入口への禁煙プレートの取り付け
- ・各トイレの修理など

5 利用者数及び利用料収入

年度	利用者数	前年度比較	施設利用料収入	前年度比較
令和2年度	7,564人		351,400円	
令和3年度	16,163人	8,599人	1,655,900円	1,304,500円

◎ 施設利用者数・利用料の増減について

三重県の緊急事態宣言により施設の閉鎖や、新型コロナウイルスの影響による各団体の利用中止や利用時間の短縮などが発生したものの、スコアボード電光掲示板工事により4か月間施設利用ができなかった令和2年度と比較して、施設利用者数、施設利用料収入ともに増加した。

令和3年度ドリーム オーシャン スタジアム(三重県営松阪野球場)利用一覧

ドリーム オーシャン スタジアム(三重県営松阪野球場)		
月	利用人数	利用料金
4月	2,692人	297,900円
5月	906人	141,400円
6月	160人	24,600円
7月	4,215人	435,600円
8月	990人	68,800円
9月	0人	0円
10月	2,217人	165,000円
11月	1,514人	132,600円
12月	820人	86,600円
1月	975人	60,500円
2月	425人	68,400円
3月	1,249人	174,500円
年合計	16,163人	1,655,900円